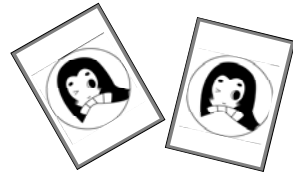


# あなたの好きな百人一首和歌2021結果発表



応募総数 1,010件



たくさんのご応募いただき  
ありがとうございました。  
1位～10位の和歌とみなさんか  
らいただいた選んだ理由をご紹介します。

| 全体順位     | 1位  | 2位  | 3位   | 4位   | 5位   |
|----------|---|---|--|--|--|
| 和歌(和歌番号) | ちはやぶる 神代もきかず 竜田川<br>からくれなみに 水くくるとは(17)  | 秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ<br>わが衣手は 露にぬれつつ(1)  | 奥山に もみぢふみわけ なく鹿の<br>声聞く時ぞ 秋はかなしき(5)  | 春過ぎて 夏来にけらし 白妙の<br>衣ほすてふ 天の香具山(2)  | しのぶれど 色にいでにけり わが恋は<br>物や思ふと 人のとふまで(40)   |
| 和歌の意味    | 遠い遠い昔、神様の時代にもこんなことはなかっただろう、紅葉が竜田川をみごとに真っ赤に染め上げて、なんと美しいことよ   | 収穫で忙しい秋。刈り入れのため作った仮庵は粗末で、編み目が粗い。だから露が垂れて袖が濡れてしまう。ああ冷たいなあ  | 奥深い山の中で、紅葉をふみわけて鳴いている鹿の声を聞くときは、この秋の寂しさが、いっそう悲しく感じられることだ  | 春が過ぎて、さわやかな夏が来ました。香具山は、衣がえのための服が干されて一面真っ白で、ますます神秘的な姿です   | 人に知られまいと恋しい思いを隠していたけれど、とうとう隠し切れずに顔色に出てしまったことだ。何か物思いをしているのではと、人が尋ねるほどまでに  |
| 応募数      | 106票  | 49票   | 47票  | 39票  | 36票  |
| 主な理由     | <ul style="list-style-type: none"> <li>初めて覚えた和歌だから</li> <li>母が好きな和歌で、一緒に覚えたから</li> <li>秋の情景と恋心が重なってとても素敵だから</li> <li>漫画やアニメの「ちはやぶる」が好きだから</li> <li>映画のちはやぶるを見てから百人一首というものを好きになったから</li> <li>和歌の響きがよく「からくれない」という部分の意味が「紅葉を浮かべ」という意味で使われていて秋らしさを感じられるから</li> <li>紅葉をテーマにしているのが日本の秋らしいなと思ったから</li> <li>在原業平の生き方と重ね合わせると景色が素晴らしいという意味よりも激しい恋を感じさせ、深く感動するから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>初めてとれた札だから。それを取ろうと決めたらいつの間にか取れるようになったから</li> <li>和歌が印象に残っていて覚えやすいし社会の時に詳しく勉強したことがある人だから</li> <li>百人一首市民大会で初めて取った札だから</li> <li>幼稚園のころかるたで遊んで「この句はぜったい取る!」と思っていたもので思い出に残っていたから</li> <li>この和歌の主題である「農夫の辛苦を思いやる(天智)天皇の心」が素晴らしい心だと思ったから</li> <li>とてもおほえやすく時期が秋だしお米が好きだから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>姉が百人一首市民大会に出ることになり練習に付き合った時に初めて覚えた和歌だから</li> <li>「鳴く鹿の」と「秋は悲しき」という二つの言葉から作者の愛する人を想う気持ちが読み取れ心に響いたから。また、私が秋や紅葉が好きで心に残ったから</li> <li>美しい紅葉の山の情景とは対照的な作者の心情が歌われており、胸に響く和歌になっているから</li> <li>自分が最初に選んで覚えたものであり、一番頭の中でイメージが想像できて印象が強いため。鹿がもみぢをふんで鳴いているのがとてもいい</li> <li>すぐに終わってしまう秋の悲しさを表現してるから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>リズム感が好き。それから春から夏へかけての季節の移り変わりを感じられるのが心地よい</li> <li>市民大会にでるメンバーでこの和歌を好きな人が多かったし、いつもねらう和歌だから</li> <li>小さい頃に聞いて印象に残っているから</li> <li>自分の死が目のときにまで好きな人に逢いたいと詠んだ歌の切なさに心を打たれたから</li> <li>昔姉とよく百人一首をやっていたときこの札はいつも接戦で思い出のある札です</li> <li>「てふ」と書いて「ちょう」と読むのがかわいいから</li> <li>読んだときにとても爽やかな感じがして、雰囲気気が気に入ったから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の恋心を人に知られないように包みかくしていたけれど人に聞かれてしまうほどに顔に出ているという意味が好きだから</li> <li>自分の恋がばれないようにしていたはずなのにいつの間にか顔にでてしまったというような現代にも通じるような和歌でとても共通することができたから</li> <li>好きな映画で紹介され、「私はずっとあなたを想っている」というのがよいと思ったから</li> <li>昔の人と現代の人の考えることが同じで面白いなと思ったから</li> <li>他人に言われてはっと自分の恋心に気付くような若々しい恋心がこの歌から感じられるから</li> <li>すごくかわいらしい和歌だと思ったから</li> </ul> |

| 全体順位     | 6位  | 7位  | 8位  | 9位   | 9位   |
|----------|---|---|---|--|--|
| 和歌(和歌番号) | いにしへの 奈良の都の 八重桜<br>けふ九重に にほひぬるかな(61)  | ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば<br>ただありあけの 月ぞ残れる(81)   | 花の色は うつりけりな いたづらに<br>わが身よにふる ながめせしまに(9)   | 田子の浦に うちいでて見れば 白妙の<br>富士の高嶺に 雪は降りつつ(4)   | 君がため 惜しからざりし いのちさへ<br>長くもがなと 思ひけるかな(50)  |
| 和歌の意味    | 昔、奈良の都で咲き誇っていた八重桜が、今日はこの宮中で、いっそう美しく咲き誇っているではありませんか  | ほととぎすの鳴き声が聞こえたので、その方に目をやってみましたが、(その姿はもう見えず) 空には有明の月が残っているばかりであった  | 花の色もすっかり色あせてしまいました。降る長雨をぼんやりと眺めているうちに。(わたしの美しさも、その花の色のように、こんなに褪せてしまいました)  | 田子の浦の海岸に出てみると、雪をかぶったまっ白な富士の山が見えるが、その高い峰には、今もしきりに雪が降り続けている。(ああ、なんと素晴らしい景色なのだろう)   | あなたに会うためなら惜しいとは思わなかった私の命ですが、こうしてあなたと会うことができた今は、いつまでも生きていたいと思っています  |
| 応募数      | 34票   | 31票   | 28票   | 26票  | 26票  |
| 主な理由     | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の桜を愛する心は今も昔も変わらないのだなと感じたため。掛詞を理解するとこの歌の美しさが一層深まるため</li> <li>祖母が一番好きな和歌だったから</li> <li>市民大会では、いつも取れている札だから</li> <li>昔の奈良の都で美しく咲いている八重桜を想像することができ、心が安らぐから。また以前、宇都宮百人一首市民大会に参加したとき必ずこの札をとっていたから</li> <li>桜が好きだから</li> <li>一番初めに覚えた大好きな和歌だから。また「奈良」や「桜」の花も好きだから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>覚えやすく得意な札だから</li> <li>ほととぎすの声だけ聞こえて姿が見えなくて余韻だけが残っているところが素敵だから</li> <li>小さなときから知っている和歌で、鳥の名前を使っているため親近感ももてるから</li> <li>鳥の種類が一番ほととぎすが好きだから</li> <li>どうしてほととぎすはすぐにいなくなったのか、その背景を詳しく調べると、平安時代の慣習などが知れるので、知れば知るほど面白いから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉選びが良くてきれいな和歌だから</li> <li>時の移り変わりを花に例えてはかない様子を表しているところが好きだから</li> <li>「女性の若さ・美しさ」を「花の色」とあらわしているのがいいなと思ったから</li> <li>この和歌の現代語訳を見たときに母もそうなっているなと思い共感したから</li> <li>自分自身が老いていくことのはかなさ、色あせて散る花を惜んでいるという二つの解釈ができるところが面白いと思ったから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>富士山に雪が積もっていることを想像してきれいだと思った</li> <li>私の名字が入っているし、一番最初に覚えたから一番好きです</li> <li>現在でも人気のある富士山に雪が積もっている様子に感動しているところに共感したから</li> <li>小学生の時から覚えている慣れ親しんでいる和歌で冬化粧をした富士山を想像すると美しいと感じるから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>君のためなら命さえも惜しくないという捧げる相手の気持ちが分かりやすく表されてすごいなと思ったからです</li> <li>心情や思いの強さが綺麗で鮮やかに表現されているから</li> <li>この歌は、私が小学校6年生の夏に大好きな祖母と百人一首の練習をしていた際にいつも祖母にとられてしまっていた歌です。悔しくてこの歌を何度も読み覚えました。今では最も得意とする歌です</li> </ul> |